

●三位一体後第二十四主日

# 泉のほとり

今月の詩編「第三十七編」

主に従う人は、口に知恵の言葉があり

その舌は正義を語る。

神の教えを心に抱き

よろめくことなく歩む。



## 真理によって聖なる者に

弟子たちは3年も「真実」で飾りのない、混じり気のない、主イエスの「きよさ」に触れて過ごしました。「きよい心」で応答しなければ主イエスとは対話が成り立たず、お叱りになることもしばしば。自分に不都合があっても「きよさ」を持つていなければ、キリストと共にいることは難しいのです。イスカリオテのユダがそうでした。主が晩餐の時に「皆がきよいが、一人だけ違う」と話されたのも、彼は物理的には、主の近くにはいませんが、主イエスのことばに真実に向き合う「きよさ」を持たず、拒みました。最後には主から離れていってしまったのです。いずれにせよ、他の弟子たちは3年もの間、主イエスの真実、そのきよさに触れ、彼ら自身も自分の師であり、主である方のようにきよくなっていたのです。ところが、主は「わたしが世に属していないように、彼らも世に属してはいけません。真理によって、彼らを聖なる者としてください。あなたの御言葉は真理です」と言われました。「きよくなつた」と言われた弟子たちをなおも「聖なる者としてください」と、父に願われたのでした。

神殿礼拝では「いけにえ」が聖なるものと定められています。いけにえは人の身代わりになって死ぬことによつて、「神の聖」を示しています。レビ記ではそのいけにえの聖なる犠牲が示された後、「隣人を自分のように愛しなさい」と教えられているのです。

罪のためのささげ物を、神殿に連れてくる時点で礼拝者は既に自分自身の罪に気づき、きよい心で神の前に立つということが期待されるのです。神の前に真実で、きよい心で近づく者に、ささげ物の代わりに死ぬ命の犠牲によつて、「罪の赦し」が宣言されるのです。死ぬべき自分の代わりに死に、私を生かしてくれた命の犠牲が、真実できよくなつたその心に「真理」の御言葉として刻まれるのです。律法が示す動物の「血」による尊い犠牲でさえ人の心に「隣人愛」を刻むものなのです。今や私たちはそれをキリストの血によつて教えられ、示されているのです。

この後、屠り場に連れて行かれるキリスト。ご自身をささげ、肉が裂かれ、血を流されることを通して、きよい心の弟子たちが神の赦しを受ける。そのようにして神の前に生きるものとなる彼らのために、なお祈られたのです。「真理によつて彼らも『ささげられた者』となるためです」と。

真理によつて彼らも「ささげ物」となるためです。それをどれほど願っておられたことか。主はそのために十字架をもいとみませんでした。彼らをも自分自身を聖なるささげ物とし、彼ら自身の命を惜しまない「よい業」によつて生かされる人たちを見て喜ぶ、「受けるより与えるのが幸いである」と言われるキリストの喜びに満ち溢れるようにと願われたのでした。忘れてはなりません。この主イエスの願いは「十字架」で実行された祈りであつたことを。今も「彼らをも聖なるものとしてください」と執り成しておられることを。その主イエスの父への祈りを私たちの願ひとしていきたいと思ひます。

使徒パウロはコリントの教会に教えています。「肉と霊の一切の汚れから自分を清め、神を恐れ、完全に聖なる者にならなさい」と。またローマ書12章でも「自分自身を神に受け入れられる聖なる生けるいけにえとしてささげなさい。これこそ、あなたがたがなすべき礼拝です。あなたがたはこの世に倣つてはなりません。むしろ、心を新たにして自分を変えていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい」と。

十字架のみならず、復活の主、勝利と栄光の主イエスの、今もなお続いているとりなし、祈りに励まされ、主イエスの前に、あくまでも真実、きよい心で、そのきよさを保ち、なお聖なるものへと日々前進していきましよう。聖霊がおられます。人智を越える力で人を癒し、新しくしてくださる聖霊が助けてくださいます。

2024年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

- 本日の子ども礼拝は成長感謝礼拝です。場所は礼拝堂です。
- 礼拝後には地下ホールで交わりの会があります。
- 臨時役員会を二三時からカナルームで行います。
- 一月二四日より、主日礼拝の中で詩篇交読を再開する予定です。

《ぶどうの会より》

本日のぶどうの会は休会です。

《記録委員会より》

本日の礼拝後、地下ホールにて「品川教会の変遷を記録から、見る、聞く、知る。」をテーマに、プロジェクトによる記録委員会からの報告がありますので、皆様ご覧ください。質疑応答の時間も設けてあります。

《ミニバザーより》

本日は、ミニバザーとして最終の販売を行います。地下ホールでの交わりの会の後、あまり時間をおかずに開催します。紳士向けの品も多数あります。お待ちしております。

《ジュネーブ教会信仰問答》

第二十二聖日

問一三六 第一の戒めを暗誦してごらん下さい。

答 イスラエル人よ聴け、わたしはあなたの神であつて、あなたをエジプトの地、奴隸の家から導き出した者である。あなたはわが前に決して他の神をもつてはならない。

問一三七 その意味を説明してごらん下さい。

答 最初にあたつて、律法全体の序言のようなことが述べられております。すなわち、ご自身を永遠者、また世のつくり主と呼ぶことによる、命令する権威をご自身に歸し、次に、彼の教えをわれわれに親しみ深いものとするために、御自らを「あなたの神」とおっしゃるからであります。それは、もし彼がわれわれの救い主であられるならば、われわれは彼の従順な民となるべきことは当然でありますから。

問一三八 しかし次に、エジプトの地よりの救出についていわれているところは、特にイスラエルの民に向かつて訴えられているのではありませんか。

答 外形上はまことにその通りであります。しかし、神はわれわれの魂を、罪の精神的捕囚と悪魔の暴虐から救い出してくださいましたので、ひろくわれわれすべてにも関わりがあるのです。

問一三九 何ゆえこのようなことを、神はその律法の初めに書き記されるのですか。

答 それはわれわれに、どれほどわれわれは、神のよろこばれるところに従わなければならぬか、またその反対は、いかに知らずであるか、を教えるためであります。

問一四〇 第一の戒めで神は、要するに何を要求しておられるのですか。

答 神に属する榮譽を、他に移すことなく、神にのみ留めるべきことであります。

問一四一 神に固有の榮譽とはどんなことですか。

答 神のみをあがめ、神に祈り、神を信頼すること、その他神の尊厳に結びついた同種のことからあります。

問一四二 なぜわが顔の前にといわれるのですか。

答 神はすべてを見、すべてを知っておられる、人々の隠れた思ひの裁き主でありますから。すなわち、神は、単に外的な告白によつてでなく、まじりけのない真実と、心情をこめて、神と告白されることを、お望みになるといふ意味であります。

外山八郎訳（新教出版社1979年）

《今日の子ども礼拝》

説教 「成長させてくださる神」

聖書 一コリント3章6〜9節

説教者 吉村和雄 名誉牧師

《次週の礼拝》

教会記念日礼拝

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「教会を通して、主イエスと出会う」

聖書 マルコ1章14〜15節

説教者 宮間彰広 兄

●主日礼拝（午前10時30分）

讚美歌 12番 191番

説教 「キリストに結ばれて」

聖書 コロサイ1章24〜29節

説教者 黄允湜 牧師





## 主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 8番 251番  
説教 「ステファノの逮捕」  
聖書 使徒6章8～15節(新約 P.223)  
司式 石川 一兄  
聖餐司式 黄 允湜 牧師  
説教者 宮間 彰広 兄

前奏曲「前奏曲ト長調」J.S.バッハ

### ○讃美歌8番

1. きよきみつかいよ かみをたたえよ

月も日もほしも よろこびうたえ

かみはあめつち つくりたまで

とわのおきてもて おさめたまえり

2. かみにたよる民 つみと死に勝ち

ともによろこびて 代々にたたえよ

みいつたぐいなく めぐみつきせぬ

かみの大御名を もろびと讃めよ

アーメン

### ○聖歌隊による讃美

「イエス様のように」 M. プランケンホーン 曲

私の願いは

イエス様のように生きること

愛に満ち

言葉と行い 主のように

イエス様について行く

迷いはありません

信じます イエス様を

迷いはありません

十字架が先にたつ

迷いはありません

私たちの願いは

イエス様のように生きること

あゝ 愛に満ち

言葉と行い 主のように

主のように

### ○讃美歌 251番

1. ただ主を仰ぎ 生死のみちを

み旨のままに ゆかしめたまえ

み前にふして つみをば悔ゆる

われらの祈り ききいれたまえ

2. わざわい多くなやみもしげき

この世の旅を おおしくすすみ

小暗きみちに さまようときも

主よ、主の許へ みちびきたまえ

3. 疲れてひとり 死かげの谷を

たどれる折も われらをつよめ

み恵みくだし みちからそえて

主よ、主の国に 着かしめたまえ

アーメン

聖餐曲「優しく穏やかに主は呼びたもう」 D. ウッド

後奏曲「神はわがやぐら」 M. レガー

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。